

□
横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.66 (2011年11月30日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 (株) メディカルアソシア

□
本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC) 事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、およびウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた皆さまにお送りしております。

1. -----■□■

<横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後 3 年以上の事業計画があり、WBC を退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は 3 年以内となっています。

WBC に入居している間は、常駐アドバイザーが相談支援を行い、WBC の会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBC の各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業の PR・お知らせ等にご利用していただけます。

↓WBC インキュベートオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベートオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

Email : ke-wbc@city.yokohama.jp

2. -----■□■

<WBC 事務局より>～米国ミシシッピ州政府駐日代表事務所からのお知らせ～
横浜市は海外企業の横浜進出支援等のため、WBC において、海外経済機関及び外資系企業向けの有料インキュベート施設を活用し企業誘致を促進しています。

ミシシッピ州政府駐日代表事務所は、米国ミシシッピ州の日本窓口として、日本とミシシッピ州のビジネス関係強化を目的に、1999 年に設立されました。ミシシッピ州内に海外進出拠点の設立を検討されている日本企業へ、現地ビジネス環境の情報提供や、進出へのコンサルテーション等の支援を無料で行なっています。その他、各種産業分野の情報提供や現地企業・支援機関への紹介等も行なっております。今回より 3 回にわたって WBC に入居している米国ミシシッピ州政府駐日代表事務所よりミシシッピ州のご案内をおおくりします。

【ミシシッピ州とは…】

ミシシッピ州は、ミシシッピ河の東側メキシコ湾に面し、米国南部の中心に位置する州です。北海道と九州を合わせたほどの面積であり、人口は約 300 万人と人口密度が低く、自然に恵まれた州です。関東から九州と同じ緯度を共有するため、気候は一年中温暖で過ごしやすく、いたる所で野外レクリエーションを楽しむことができます。

ミシシッピ州はまた、ブルース音楽の生まれ故郷でもあり、南部の人達は「サザン・ホスピタリティ」で知られる南部特有の暖かさをもって州外の人々を迎えます。

ミシシッピ州の第1の特徴は、「平原の州」であることです。州西部には農業地として発達してきた肥沃なデルタ地帯が広がっており、水産養殖、サツマイモ、長粒米、落花生、大豆などが主な農産物です。第2の特徴は、「豊かな森林」で覆われていることです。州面積のおよそ55%が森林および植林地となっており、林業、製紙や建材でよく知られています。第3の特徴は何といても「世界有数の大河」を持っていることです。ミシシッピ河は現在も歴史的に見ても、アメリカ水運の大動脈です。

ミシシッピ州はこのような自然の恩恵を生かし、米国市場は元より、カナダ、中南米、カリブ海市場への主要な輸送網を完備しています。2つの深海港を含む合計16の港、6つの主要空港と総延長4,500kmに及ぶ20の鉄道路線、全米第4位の高速道路網を持つミシシッピ州は陸・海・空のいずれにおいて輸送の便が優れており、一年を通じ安定した出荷を可能にしています。

このようにミシシッピ州は、自然との調和をうまく図りながら、世界中からのビジネスの受け入れにうまく対応できる環境を作り出した州なのです。今回はミシシッピ州の基盤産業についてお伝えします。

<お問い合わせ先>

米国ミシシッピ州政府駐日代表事務所

E-Mail : paul@ywbc.org

TEL : 045-222-2047

■□■

3. -----■□■

<横浜市より>

【林文字横浜市長フランクフルト訪問と企業誘致トップセミナーのご報告】

横浜市の林文字市長は、11月4日にドイツ・フランクフルト市で地元企業向けの「企業誘致セミナー」を開催するとともに、同市のペトラ・ロート市長と会見し、パートナー都市交流の促進について意見交換を行いました。

ドイツ企業32社などからの計70人が参加者した企業誘致セミナーでは、林文字市長が横浜の優れたビジネス環境や生活スタイルの魅力をPRしたほか、既に横浜に進出している企業「コンチネンタル」の安全・シャシー部門人事担当上席副社長による「コンチネンタル社が経験した横浜の企業環境」と、ジェトロデュッセルドルフセンターによる「対日直接投資の現状と最近の主な事例」についてのプレゼンテーションが行われました。

また、林市長はフランクフルト・バイオテクノロジー・イノベーションセンター（FIZ）やメッセ・フランクフルト、市内の学校を訪問し、今後の交流・協力可能なテーマについて関係者と意見交換を行いました。

■□■

4. -----■□■

<WBC事務局より> ～コラム「アジアのあれこれ」～

【知られざる国～インド】

先般インド関連のビジネスセミナーに出席する機会がありました。

主催者側のお話では、昨今のインドは規制緩和、企業民営化などの経済自由化政策を

積極的に推し進めており、12億の人口のうち、購買力のある富裕層の数も年々増えているので、近い将来は非常に魅力的な巨大マーケットになる潜在的可能性を持っている、とのことでした。

日本からは既に大企業を中心に沢山の企業が進出（2010年10月時点725社：インド大使館調べ）していますが、中小企業の進出はまだまだ少ないようです。一方、インド側にも無数の中小企業（特に製造業）が存在しますが、その殆どが生産や経営ノウハウ等の欠落で困難をきたしている、と言うのも事実のようです。そこで、これらに関して世界でも有数の資源を持っている日本の中小企業がインドにもっと進出してくれば、両者にとって大きなメリットがあるのではないかと、言うことを強調されていました。

多くの日本人にとってインドは近い様で遠い国。知っているようで意外と知らない事が多いようです。インドと日本（特に横浜）は歴史的に見ても古くから緊密な友好関係にあり、インドには親日家が多く、国民性も「正義と公正を尊重する」「遠慮、譲り合いの精神を大切に」「教育水準が高い」など日本人と似通っているところが多いと言われているそうですので、日本人にとっては「馴染みやすい国」ではないでしょうか。

最近中小企業の方から「中国の代替ソースを東南アジア諸国に求めたい」「日本のオンリーワン商品を東南アジアで生産・販売したい」といったご相談がありました。東南アジアと言うと先ずはタイ、ベトナム、マレーシア、カンボジアなどアセアン諸国のことが頭に浮かぶのですが、巨大な潜在市場を抱えBRICSの一員として近い将来世界経済を引っ張っていく可能性を秘めたインドについても、日本との歴史的繋がり、政治・経済の関係、投資環境などについて、我々はもっと良く勉強する必要があるのではないかと、この思いを強くした次第です。

（執筆者：WBCアドバイザー）

■□■

5. -----■□■

<広報協力> ～JETROよりセミナーのお知らせ～

【12月12日 南インドのビジネス概況および自動車産業の現状 セミナー】

インドタミル・ナドゥ州は「インドのデトロイト」と称され、インド有数の自動車産業集積地として近年日系企業の進出も急増しています。本セミナーでは、南インドのビジネス概況とインド南東部タミル・ナドゥ州における進出日系企業最新動向についてご紹介します。併せて南インドの自動車産業事情を紹介し、サプライヤーとしての参入ノウハウを、成功事例を交えてお伝えします。インドへの自動車部品の輸出拡大と販路開拓をめざす皆様、ぜひご参加ください。

日時:2011年12月12日(月)14時00分～16時00分(13時30分より受付開始)

場所:ワークピア横浜 2階 おしどり(横浜市中区山下町24-1)

プログラム:

第1部:「南インドのビジネス動向と進出日系企業の動向」

講師:ジェトロ・チェンナイ所長 藤井 真也

第2部:「南インド自動車市場の現状、参入に係るアドバイス」

講師:ジェトロ中小企業海外展開支援コーディネーター

(機械・部品分野) 佐藤 江司氏

(GIIP India Accounting and Advisory Pvt. Ltd.)

質疑応答

主催:ジェトロ横浜

参加費:無料

定員:100名(先着順)

詳細とお申込みはこちら↓をご覧ください。

<http://www.jetro.go.jp/events/seminar/20111122715-event>

6. -----■□■

<広報協力> ～IDEC よりセミナーのお知らせ～

【12月14日 中国経済情報セミナー「中国物流・通関：中国ビジネス現場の最新事情」】

中国経済情報セミナーを開催します。

今回は、セミナー開催要望が高い中国物流をテーマに、中国物流・通関ビジネスに精通した講師を招き、基礎的な知識から最新動向情報並びに課題と対策などについて、事例を交えながらご紹介します。皆様奮ってご参加ください。

◆日時：平成23年12月14日（水） 14：00～16：30

◆会場：(財)横浜企業経営支援財団 大会議室

<http://www.idec.or.jp/aboutus/a5-map.php4>

◆対象：中国ビジネスに取り組む企業

◆費用：横浜市内企業／無料 市外企業／1,000円（当日受付にてお支払いください。）

◆定員：50人（定員になり次第締め切らせて頂きます）

◆締切：12月13日

◎詳細はこちら

→ <http://global.idec.or.jp/semina2011/20111214.html>

◎お問い合わせ先

(財)横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部

電話：045-225-3730 FAX：045-225-3737

E-mail：global@idec.or.jp

7. -----■□■

<広報協力> ～JETRO よりセミナーのお知らせ～

【12月2日、12月16日 外資系企業フォローアップセミナー】

神奈川県に進出した外資系企業の多くは、人材の確保、人事労務、税制、融資などさまざまな課題に関して支援を望んでいると思われま

す。そこで、それらの課題解決の一助として外資系企業に対する情報提供と相互交流を深めるためにフォローアップセミナーを2回シリーズで開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日：第1回 12月2日（金）、第2回 12月16日（金）

時間：各回ともに14時00分～17時00分（17:00～17:30 名刺交換・交流会）

場所：神奈川産業振興センター山下支所 商談室

（横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階）

プログラム：テーマと講師

〔第1回〕12月2日

1. 「外資系企業の税務上の留意点」

SUパートナーズ税理士法人 マネージャー 税理士宮崎 勝氏

2. 「神奈川県内の外国人向け相談窓口の紹介（生活支援他）」

神奈川県商工労働局産業部産業立地課

国際ビジネスグループ主幹 脇坂 道裕氏

3. 「横浜市内の外国人向け生活支援について」

（公財）横浜市国際交流協会 多文化共生課課長 坂本 淳氏

〔第2回〕12月16日

4. 「外資系企業への日本貿易振興機構（ジェトロ）の支援の紹介」
日本貿易振興機構（ジェトロ）横浜貿易情報センターより
5. 「外資系企業向けの支援制度と助成金の紹介」
横浜市経済局成長推進部誘致推進課より
横浜市経済局中小企業振興部ものづくり支援課より
6. 「国や地方自治体等の助成金の紹介」
（有）ピー・エム スリー 代表取締役社長
中小企業診断士 一級販売士 那須 藤生氏

参加費：無料

定員：20名（先着申し込み順）

主催：（公財）神奈川産業振興センター（KIP）、神奈川県、ジェトロ横浜

お問合せ：（公財）神奈川産業振興センター（KIP）事業振興部

国際取引振興課：島田、鈴木

TEL：045-633-5126 FAX：045-633-5064

<http://www.kipc.or.jp/>

お申込み：以下の項目を記載の上、メールにてお申込をお願いします。

- (1) 「外資系企業フォローアップセミナー」参加希望
 - (2) 所属団体、所在地、申込者、TEL、FAX、E-mail
 - (3) 受講希望内容（2回参加、第1回参加、第2回参加）
- 送信先：kokusai@kipc.or.jp

■□■-----

8. -----■□■

<広報協力> ～JETROよりセミナーのお知らせ～

【12月7日 2011年 神奈川県外資系企業 ネットワーキングセミナー】

県内に進出した外資系企業間、及び、外資系企業と県内企業間におけるネットワークを広げていただくためのセミナーです。基調講演では主に県内における外資系企業の進出状況についてご説明します。パネルディスカッションでは進出先として神奈川を選んだ理由や今後のビジネス展開などについて、外資系企業の方々からお話を伺います。ネットワーク拡大やビジネスの発展をめざしている皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2011年12月7日（水）14時30分～19時00分（交流会含む）

会場：横浜情報文化センター6階 情文ホール

（みなとみらい線日本大通り駅 情文センター口上）

セミナー：

- ・あいさつ 神奈川県産業部長
- ・基調講演： 「最近の外資系企業の県内進出状況」（仮）
（株）帝国データバンク 産業調査部政策支援課（予定）

パネルディスカッション：

「神奈川の魅力と今後のビジネス展開」（仮）

コーディネーター：（株）帝国データバンク 産業調査部政策支援課（予定）

パネリスト：（株）エクスワン 営業部セールスマネージャー 添田浩史氏

カラートラックジャパン ブランチマネージャー 市川 栄一氏

（株）大連思派電子 代表取締役 臧 義政氏、ほか

交流会：17:30～19:00（KIP主催）

※セミナー、交流会ともに英語通訳がごさいます。

参加費：セミナーは無料、交流会は1,000円を予定

主催：神奈川県、ジェトロ横浜、（財）神奈川産業振興センター（KIP）

